

インターハイ2競技と甲子園県大会

新潟県中央工業社行会 全校生徒が校歌で激励

甲子園から7年、再び出場を

野球部の4回戦で明訓、次は文理
高村監督



上半身を反り返らせて校歌を熱唱する全校生徒たち



選手たちに激励費を手渡す梨本同窓会長

三本の新潟県中央工業高校・大澤卓郎校長・生徒五百六十人は三日正午から同校体育館で全国高等学校総合体育大会(インターハイ)に出場するレスリング部とウェイトリフティング部、全国高等学校野球選手権大会(夏の甲子園大会)に出場する野球部の壮行会を開き、全校生徒が校歌で激励し、同窓会(梨本會)はレスリング部とウェイトリフティング部に遠征費の補助となる激励費を贈った。

レスリング部は八月一日から五日まで京都府舞鶴市で開催されるインターハイ・レスリング大会に出場する。個人で出場するほか、ウェイトリフティング部も同じ期間に兵庫県明石市で開催されるインターハイ・ウェイトリフティング大会に個人で二選手が出場。

野球部は今月十日に開幕する夏の高校野球新潟県大会に挑み、同校二年度目の甲子園出場をめざす。全校生徒と教職員、来賓がそろった体育館で、七年前の野球部が夏の甲子園に初出場した日の夜、その試合を甲子園球場で観戦していた。レートの伊集院光さんが、深夜のラジオ番組で県史上最大の感動の試合の興奮を生々しく語った部分の録音を流し、当時の興奮をみがえらせた。

その後、野球部、ウェイトリフティング部、レスリング部の順に入場行進して体育館に拍手で迎えられた。大澤校長は選手たちを前に、「よく『無心』『無欲』と言いが、青春のすべてをかけて頑張ってください。応援を向かって、簡単に倒れる選手はいない。しかし、初戦を迎えるに当たり、心を落ち着け、地に足を付けてこのときを迎えてほしい。真に強い選手は急がず、相手を倒すもの」と伝えた。

その後、野球部の選手でもある三年生堀優介生徒会長は、「レスリング部、ウェイトリフティング部、レスリング部の選手、おめでとう。三年生は最後の大会になる。やっつけたことを十分に活かし、球部の一員として、チームの役に立てよう頑張ります」と激励と決意を述べた。

このあと、各部の代表が大会日程を紹介しながら決意を述べ、全校生徒の応援を願い、全校校歌を大合唱した。さらに同窓会(梨本會)会長「レスリングとウェイトリフティングのインターハイでの活躍を願っています。野球部の甲子園出場が三年生、甲子園出場を果たせば、地域の誇りです。皆さんの活躍を期待しています。最後まで応援してください。激励します。」

その後、野球部の高村



全校生徒の前で整列した野球部、ウェイトリフティング部、レスリング部の選手たち

ウェイトリフティング部とレスリング部の選手代表、激励費を手渡した。このあと、北信越大会で好成績を収めたレスリング部、ウェイトリフティング部、山岳部、水泳部の選手を表彰し、午後四時四十分、終了後、野球部の高村の成長を期待していた。

後援は、組む合わせ、抽選で日本文理、新潟明訓、東京学館新潟、帝京長岡など強豪がひしめく「死のブロック」に入り、順当に四回戦で新潟明訓、準々決勝で日本文理と対戦する可能性が高いが、「戦に勝つことができれば、戦に勝つことができる。そうやって勝ち進んでいく。中越に勝つことができる。それがいい。」と前向きにとらえ、大会中の選手の成長を期待していた。